

(別紙様式)

# 令和7年度 赤穂市学校評価

# 外部評価報告書

学校園名 赤穂市立赤穂東中学校

## 総合的な学校関係者評価

・時々仕事で学校に行くことがありますが、皆さん（生徒、教員）挨拶をしていただき、とても気持ちがいいです（赤穂市内全部の学校でも）・体育祭での生徒の姿はすばらしく、たのしく取り組みがすばらひと感心しました。生徒の落ちつきもあり学校の外で挨拶してくれることも増えました。・「赤穂」を誇りに思い将来も赤穂に住み続ける人を育ててほしい・重厚な「教育目標」・「基本方針」を掲げ生徒の育成に努める学校運営のご苦労が随所に伺えられる。・個人の学校生活における大切な成長期において先生方の根気ある又、暖かな「見守り」を感じるが、「時には厳しくも」育てあげて行って頂きたい。・運動会の見学で、子どもの自主性とまとまりを感じました。各クラスの応援も、盛り上がっていて、楽しい学生生活を送っているのを感じました。・学校環境はいい状態が続いていると思います。今後は部活動が無くなので、先生と生徒の関係が希薄にならないように、指導方法を工夫して頂きたい。・学校教育目標のもと、学習や生活面において着実な取り組みが進められていると感じる。今後も家庭や地域と連携しながら教育活動のさらなる充実を期待します。・部活動の地域移行に伴い、先生方にも多の時間的ゆとりがでけると感じます。その時間を自分や、家族のために充てていただきたいです。・先生には、早朝より夜遅くまで勤務されておつかれさまです。・評価に於けるBとCの間を設ける必要を感じました。つまり、「まあまあ達成した」等。「B:ほぼ達成」は8割できたという捉え方をすると、そこまでは至っていないが5割以上は出来たという感覚の場合、「C、あまり達成できなかった」は適さないと思った為。

## 学校関係者評価

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

### 1 本年度の学校経営方針

【学校教育目標】「誇りを持ち夢に挑戦できる生徒の育成」  
～『志』高く、多様性を理解した心豊かな人づくり～  
【教育活動の礎】  
「自主・協同・奉仕・明朗・遵法」を礎とし、「気づき・考え・行動する「若木の精神」」を柱とした教育活動を推進します。

### 2 本年度の学校重点目標

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 健やかな体の育成
- (4) 自主自律の精神の育成
- (5) 特別支援教育の充実
- (6) 地域に信頼される、魅力ある学校づくり

### 3 自己評価結果 (A～D) A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

観点 (重点目標)	評価項目 (学校・教師の取組) 評価指標 および 目標値 (期待される姿)	評価資料	達成状況	改善の方策
1. 人間として当たり前のことができる集団を育て、人としての心を育てる。	項目 挨拶・服装をはじめ、基本的な生活習慣を確立させることができたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○生徒、教職員問わずに、笑顔でさわやかな挨拶ができるよう、取り組む。 ○服装、時間を守ることなどの基本的な生活習慣の確立にあたっては、全職員の共通理解のもと、家庭との連絡を密にしながら、学校生活のあらゆる場面で、個々の生徒に応じた指導や対応を行う。 ○生徒1人1人が、自尊感情を高められる指導、対応になるよう教員の研修をさらに積み上げ、人権感覚豊かな環境で教育活動を行いたい。
	項目 清掃指導やボランティア活動への参加を促す等、生徒の奉仕の心を育てたか。	生徒アンケート 教師自己評価		
	項目 熱心に清掃に取り組んだ。また、生徒会や校内のボランティア活動に積極的に参加した。	生徒アンケート 教師自己評価		
2. 夢と希望を持ち、笑顔あふれる生徒を育てる。	項目 生徒の人権を大切に教育を行い、生徒との信頼関係を築くことができたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A	○生徒用タブレットの効果的な活用方法を模索し成果を検証したい。便利に伴うリスクも把握した上での取組の必要がある。 ○家庭学習を定着させるために、毎日の課題や、週末の課題を出し、丁寧に点検指導することで意欲の向上を図っている。 ○基礎学力の定着や向上を図るため、朝の学習タイムの活用が効果的である。さらに、終わりの会後の学習時間の効果的な活用を進めたい。 ○デジタル教科書や生徒用タブレットを活用しながら個々の習熟度に応じた課題の与え方を工夫し、有効な少人数授業の研究を推進する。 ○支援を必要とする生徒に、多くの教師が関わられるよう個別の指導計画、支援計画を活用する。
	項目 先生は生徒のことをよく理解しており、頼りになる存在である。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 わかる授業を創造し、生徒たちの自己実現を図り、学習意欲を高めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
3. 楽しく安心して充実した生活が送れる学校づくりを進める。	項目 家庭との連携を図り、家庭学習の習慣が確立したか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A	○いじめを生まない学級経営を全教師が実践する。生徒理解を深め、いじめにつながる事案の早期発見、早期対応をチームとして行う。 ○普段の生徒の言動に関して、教師が高い人権感覚をもって向き合う事が大切である。教師自身の人権感覚をさらに高めたい。 ○不登校生徒へのアプローチは、担任だけでなくスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携しながら進める。保護者へのカウンセリングを継続して実施していきたい。ケース会議等を持ち、情報を共有し、全職員で取り組み方を検証しながら進めていきたい。
	項目 自主的な家庭学習ができ、宿題等も期日を守って提出できる。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 特別な支援を要する生徒に対して適切な指導が行われたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 主体的・対話的・深い学びを目指した授業の創造ができたか。	教師自己評価		
3. 楽しく安心して充実した生活が送れる学校づくりを進める。	項目 生徒たちに学びはあったか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A	○情報共有して全職員でいじめや不登校に取り組み学校が楽しい場所であるように願います。 ・「いじめを生まない」対応の基本は生徒・教師間を含めた「人権の尊重」と「思いやり」と共に学級毎のチームワーク造りが大切である。 ・いじめ等につながる前触れ事象の「早期発見」等、注意深く、見守って頂きたい。 ・いじめは、早期発見と声掛けだと思います。特にクラスの担任が、生徒が心開いて接する存在となって欲しい。
	項目 教育相談週間(面談)や生活ノートの活用により生徒理解を深めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 楽しく安心して学校づくりに努めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
3. 楽しく安心して充実した生活が送れる学校づくりを進める。	項目 学校に愛着を持ち、毎日登校することが楽しい。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A	○不登校生徒へのアプローチは、担任だけでなくスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携しながら進める。保護者へのカウンセリングを継続して実施していきたい。ケース会議等を持ち、情報を共有し、全職員で取り組み方を検証しながら進めていきたい。
	項目 学級経営等の工夫により、生徒は充実した学校(学級)生活を送っているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
3. 楽しく安心して充実した生活が送れる学校づくりを進める。	項目 学級活動等で活躍することができ、学校での生活が充実している。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A	○不登校生徒へのアプローチは、担任だけでなくスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携しながら進める。保護者へのカウンセリングを継続して実施していきたい。ケース会議等を持ち、情報を共有し、全職員で取り組み方を検証しながら進めていきたい。
	項目 不登校生徒への指導や支援は十分であったか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
3. 楽しく安心して充実した生活が送れる学校づくりを進める。	項目 不登校生徒が、自分のペースで学び続けることができた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A	○不登校生徒へのアプローチは、担任だけでなくスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携しながら進める。保護者へのカウンセリングを継続して実施していきたい。ケース会議等を持ち、情報を共有し、全職員で取り組み方を検証しながら進めていきたい。
	項目 不登校生徒が、自分のペースで学び続けることができた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		

自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	◎	・挨拶できるよう家庭とも協力して取り組んでほしい。 ・「生徒会」及び「学校」それぞれの方針等の「遵守事項」等は学校生活、運営上大切な条件と思う。 ・「教師と生徒」共々根気ある活動に努めて頂きたい ・地域でのボランティアに取り組んでもらいたい。 ・生徒が、自主的に行動できるように指導して欲しい。 ・日常の朝夕の散歩により、近所の子供たちに会う機会も少し増えておりそのせいでお互いの顔を覚えてもらい、挨拶をすれば返事も返してくれます。
○	◎	・タブレットの利用で書く能力が低下しないように課題に工夫してもらいたい。 ・家庭学習の定着は難しいことと思われませんがよろしくお願ひします ・教育学習法の多用は改善等に伴う学習が常態化される今日、一段と生徒側の習熟度が重視される。これらの面も十分考慮された指導、教育を願ひたい。 ・TBは便利ですが基礎をおろそかにしないで下さい。 ・学習することの楽しみを常に伝えていって欲しい。 ・時代の流れでTBなどの活用がさらに期待されます。 ・スマートホン、パソコンも含めて、メリット デメリットもしっかりと教えていただき、適切な活用を望みます。
○	◎	・情報共有して全職員でいじめや不登校に取り組み学校が楽しい場所であるように願ひます。 ・「いじめを生まない」対応の基本は生徒・教師間を含めた「人権の尊重」と「思いやり」と共に学級毎のチームワーク造りが大切である。 ・いじめ等につながる前触れ事象の「早期発見」等、注意深く、見守って頂きたい。 ・いじめは、早期発見と声掛けだと思います。特にクラスの担任が、生徒が心開いて接する存在となって欲しい。

A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

観 点 (重点目標)	評 価 項 目 (学校・教師の取組)		評価資料	達成 状況	改善の方策
	項目	指標			
4. 東中を 学びの場 としてふ さわしい 環境にする。	項目	教室や廊下には生徒の作品やポスター類がきれいに掲示されるなど、環境が整備されているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A	○各行事が効果ある取組として実践・継続できる よう事後検証を的確に行いたい。  ○整った環境が学びを向上させるとの共通理解の もと、環境整備を実践した。  ○人権意識の向上のため、生徒の心に響く授業を 行う必要がある。今後も継続的に意識調査を実 施し、生徒の実態に合わせた指導を心がける。  ○自主的な活動が達成感のあるものになるよう、 適切なアドバイスが必要である
	指標	教室や廊下には掲示物が整然と貼られ、環境が整っ ている。			
	項目	掃除がすみずみまで行き届くなど、校舎内外の環境 美化に努めているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	校舎内外ともに隅々まで清掃が行き届いている。			
5. 地域に 信頼され る学校づ くりを進 める。	項目	教職員の言葉遣いは人権に配慮された適切なものにな っているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○学校が地域の声を聞く場面を模索し、地域との つながりを保てるよう努力する。 ○生徒、保護者、地域に信頼される教職員になる ために一層の職務への専念、服務規律の確立に 努める。 ○自治会、青少年育成推進委員、防犯委員、民生 児童委員など、青少年の育成に関与しておられ る方々の協力が引き続き得られるような教育活 動を展開する。 ○日々の校内巡視や、安全点検等の徹底を図る。 ○学校運営協議会で学校行事等について協議して いただき、外部の方から支援していただけるよ う取り組む。 ○校舎内外の環境整備や学習指導（教師の補助的 作業）等にも地域の方のご協力が得られるよう な方策を検討する。
	指標	生徒や保護者に対して人権に配慮した適切な言葉遣 いができている。			
	項目	生徒会活動は活発で、自治的・主体的・自律的な活 動が行われているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	生徒会の委員会活動等は活発で、生徒は自主的に活 動できる。			
	項目	オープンスクール等を推進し、保護者や地域の人たち の生徒理解・学校理解を進めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	保護者や地域住民は学校行事等に積極的に参加し、 また、教育活動に協力的である。			
6. 人間的 なふれあ いに基づ く生徒指 導を進め る。	項目	地域行事への参加・協力を通して、学校と地域の連 携を図ったか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A	○学級経営、生徒指導について教師自身が力量を 高めようとする姿勢が求められる。生徒が生き 生きと活動するためにどのように学級づくりを 進めるのかチームとして取り組みたい。 ○道徳の指導力を向上させ、教師自身が人間性を 磨く姿勢を持ち続けていきたい。 ○家庭環境等の影響で基本的な生活習慣が身につ きにくい生徒もいる。保護者がどのように関わ ればいいのかも含めた、子育てに関わる講演や 研修会を計画したい。 ○生徒と教師、生徒同士の適切な関係づくりや、 家庭と教師との連携に向け、教職員の資質向上 研修を推進する。
	指標	地域行事に積極的に参加する。			
	項目	P T A活動への協力など、P T Aと効果的な連携を 図ったか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	P T Aの協力を得て、教育活動が活性化した。			
	項目	学校評価を適切に行い、次年度への学校教育の指針 を作成したか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	アンケート等で保護者や地域住民の声をくみ取り、 次年度の学校経営方針等を策定した。(教師)			
6. 人間的 なふれあ いに基づ く生徒指 導を進め る。	項目	育成推進委員会などと連携を図り、生徒たちの健全 育成を推進したか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	A	○学級経営、生徒指導について教師自身が力量を 高めようとする姿勢が求められる。生徒が生き 生きと活動するためにどのように学級づくりを 進めるのかチームとして取り組みたい。 ○道徳の指導力を向上させ、教師自身が人間性を 磨く姿勢を持ち続けていきたい。 ○家庭環境等の影響で基本的な生活習慣が身につ きにくい生徒もいる。保護者がどのように関わ ればいいのかも含めた、子育てに関わる講演や 研修会を計画したい。 ○生徒と教師、生徒同士の適切な関係づくりや、 家庭と教師との連携に向け、教職員の資質向上 研修を推進する。
	指標	地域諸団体の協力を得て、健全育成を推進した。			
	項目	安全で安心な学校づくりに取り組んだか	保護者アンケート 教師自己評価		
指標	定期的な安全点検、校内の巡回等、生徒の安全確保 に取り組んだ。(教師)				

◎:適切である ○:ほぼ適切である △:あまり適切でない ×:適切でない

自己評価 は適切か	改善方策 は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	◎	・体育祭や文化祭の生徒の姿はすばらしく今後も楽しみに しています。 ・体育祭の実施日開催を平日にして生徒がクラブとの参加 で悩むことがないようにして良いのではないですか。 ・「整った環境造り」「整備」は根気がある活動で大切な 事である。 ・「教師の言葉」は生徒個人の心に残るもの。一言一句、 良い方向で響いて残るものであってほしい。 ・生徒会が機能している様に感じられます。 ・教室もきれいです。 ・他の学校の環境への取り組みも紹介してみてもどうか。 ・いじめ等は外部からはなかなかわかりにくい課題かと思 います 見えないところで発生しているかもしれませんが、 孤立している感じの生徒を見かけたら声掛けをして相談に のってあげてほしいです。
○	○	・オープンスクールの情報を地域に早めに知らせて地域住民が中 学校に目を向けてもらいたい。「若木」では回覧される時に時期 が過ぎている場合があります。 ・立地として保幼小との連携がとりやすいと思うので生徒に良い 影響を与えてほしい。 ・地域とのつながりと連携を保つ上での自治会等への配信「学校 だより」HP等の配信はとても効果大である。 ・今後とも、自治会・学校運営及び協力機関の連携を保ちながら の協力・支援等を充実していきたい。 ・地域も、中学校とのコンタクトが取れるように活動します。 ・「PTA活動への協力・効果的な連携」についてPTA役員との協力 ・連携は出来ているかと思いますが、PTA会員に対しての「活動 への理解協力という事では大きな溝があるように考えます。PTA= 大きな不担というイメージの更なる払拭、役員の見直し(小 学校役員を務めていただいた人からの協力が多く、一般の人が入 りにくいイメージがある) ・PTA活動や地域の行事は役員がやるものではなく、会員の方にも もっと参加してもらえる仕組みを考える必要がある。 ・学期ごとの通常の協議会ではなく、目的に応じた協議の場を設 けてみてはどうでしょうか。 ・楽しく学校生活を送れるようにしてあげてほしいです。
○	◎	・問題への考えは家庭により違いもあり大変なご苦労があ ることと思われませんが関係機関と協力し取り組んでほしい です。 ・学校経営「学級づくり」で大切な事は教師と生徒間の信 頼関係できまる。お互い、特に教師側が人間力を高め、生 徒に対にも、互いの人格を尊重した上で先に資質を高めて 行って頂きたい。 ・クラブ活動の移行でクラブに入らない生徒の行動が気に 入ります。 ・集団生活を通じて、個人が成長していけるような、学級 づくりを目指してもらいたい。 ・定期的に発行していただいています、学校だよりに時々 目を通して頂いています。自分の家庭に小さい子は居ませんが、 地区のお知り合いの子供たちの名前があると、あの子は こういう活動をしているんだ。この子のスポーツ成績 す ごいなあ。トライやるウィークの記事も楽しみにしています